

教えて! Q&A

今日のテーマ



新興国

米国の利上げと新興国通貨の動向

Q 米国の利上げ開始前後の新興国通貨は？

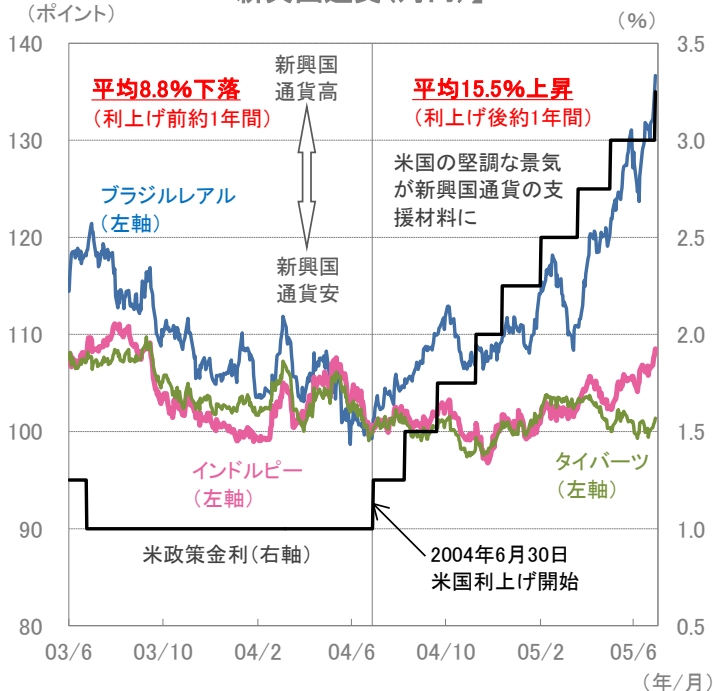
A 2004年の利上げ時には、新興国通貨は、利上げ開始から半年程度経過した後、米国の堅調な景気を背景に上昇に転じました。今回も、利上げ開始後の米国の景気の足取りがカギとなりそうです。

■2004年の米国の利上げの例を見ると、新興国通貨は利上げ開始後も、しばらく軟調な推移が見られました。利上げ開始から半年程度経過した後、堅調な展開になりました。

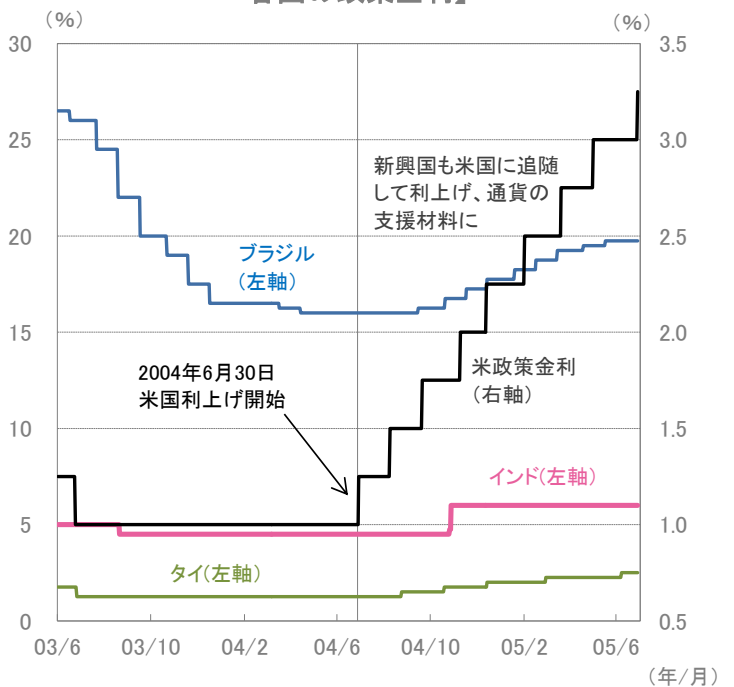
■米国の良好な景気が新興国に波及するとの期待や、それぞれの国での利上げが、新興国通貨の支援材料になったと見られます。

■今回の利上げでも、米国の景気の足取りがカギとなりそうです。

【2004年6月の米国利上げ開始前後の新興国通貨(対円)】



【2004年6月の米国利上げ開始前後の各国の政策金利】



(注)データは2003年6月2日～2005年6月30日。各通貨は、初回利上げ前日(2004年6月29日)を100として指数化。米政策金利は、FF金利。
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(注)データは2003年6月2日～2005年6月30日。ブラジルは、SELIC金利。インドはレポ金利、タイは翌日物レポ金利、米国はFF金利。
(出所)Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。